

第 41 回インナーゼミナール大会

研究計画書

ゼミ名	青木ゼミ II	チーム名	チーム 9
タイトル	Gross National Happiness - ブータン・オーストラリアからの「豊かさ」レポート -		
テーマ群	d)国際経済		
メンバー	岩本尚之、上山紗有理、近藤佑、塩見昂浩、西田和慎、半澤佑樹、 広野由里子、山下大輔、山本里紗		
研究計画内容	<p>“幸福な国ってどんな国？”</p> <p>GNH って知っていますか？GNH とは Gross National Happiness の略で日本では「国民総幸福量」といい、1972 年にブータンの国王が提唱した「国民全体の幸福度」がその最初の試みでした。GNH はブータンで政府の政策として役立たれていて、GNH の増加を政策の中心として進めています。GNP で示されるような金銭的・物質的豊かさを目指すのではなく、精神的豊かさを目指すべきとする考えから生まれました。統計方法はひとりひとり聞き取り調査をしています。2006 年の 170 ヶ国のランキングにおいて日本は 90 位でした。また 2011 年 5 月に発表された OECD の幸福度指数(Your Better Life Index)では、日本は 34 ヶ国中 19 位でした。</p> <p>私たちはブータンの政策と幸福度指数のランキングに視点を当て、日本との違いや幸福になるためには何が必要かを分析、調査していきます。その内容は以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、ブータンからの「豊かさ」レポート 国民総幸福量の発祥地ブータンでの驚くべき政策を調べ、GNH が注目されるようになった経緯を考察する。 2、OECD の Your Better Life Index の分析、調査 2011 年 5 月に発表された OECD の幸福度指数(Your Better Life Index)を分析の対象とし、11 項目別の国別ランキングを分析、調査し、総合ランキングで各国の位置付けを考察する。またオーストラリアは 1 位で、なぜ日本は 19 位なのか考える。 3、「幸福である日本」にするには私たちはどうすればいいか？ 子供を育てたい国を基準として、各国を評価し、日本の足りない部分、足りる部分を考える。そしてどのような日本にしていくべきかを提案する。 		